

<NEXCO 中日本金沢支社の冬期交通確保への主な取り組み>

◆雪氷対策作業の人員及び車両体制

当支社管内では、2015年度の冬期交通確保に向けて定期的な除雪作業や路面凍結の防止作業などを行うため、次表に示す現場体制で雪氷対策作業にのぞみます。

当支社管内の除雪体制は、降雪予測に応じて路面上の積雪量が5cmを超えない範囲で作業に取り組んでいます。現在、インターチェンジ区間により差がありますが、事故や立ち往生車両などによる交通障害がない場合、1時間あたり3cmから8cm程度までの降雪強度に対応できる体制としています。

中日本高速道路株式会社では、高速道路で異常な降雪が発生した場合や降雪に伴う立ち往生車両が多数発生した場合に、各支社・各保全・サービスセンター間相互の応援派遣などにより、雪氷対策の強化に努めます。

また、今年度、東海地方の降雪に備えて配備した除雪トラック6台、湿塩散布車1台、自走式標識車3台の計10台を車両の最適配置を鑑みて福井県に配置して有効活用し、北陸道の雪氷体制の強化を図ります。

事務所名 (HSC : 保全・サービスセンター)		敦賀 HSC		福井 HSC	金沢 HSC	富山 HSC		計				
道路名		北陸道	舞鶴 若狭道	北陸道	北陸道	北陸道	東海 北陸道	北陸道	東海 北陸道	舞鶴 若狭道		
管理区間(IC間)		木之本 ～ 今庄	小浜 ～ 敦賀 JCT	今庄 ～ 加賀	加賀 ～ 小矢部	小矢部 ～ 朝日	白川郷 ～ 小矢部 砺波 JCT	木之本 ～ 朝日	白川郷 ～ 小矢部 砺波 JCT	小浜 ～ 敦賀 JCT		
管理延長	(km)	44.7	39.0	60.1	69.6	84.3	42.6	258.7	42.6	39.0	340.3	
雪氷基地	(箇所)	3	2	3	5	4	3	15	3	2	20	
雪氷対策作業従事者	(約〇人)	160	70	110	110	160	70	540	70	70	680	
除雪	除雪トラック	(台)	24	11	17	18	24	11	83	11	11	105
	モーターグレーダー	(台)	—	—	—	2	—	—	2	—	—	2
凍結防止剤散布	湿塩散布車	(台)	2	3	4	4	7	3	17	3	3	23
	溶液散布車	(台)	2	1	1	2	1	1	6	1	1	8
	小型散布車	(台)	2	—	5	4	4	1	15	1	—	16
排雪	ロータリー車	(台)	3	2	4	4	6	3	17	3	2	22
	トラクターショベル	(台)	12	6	8	5	5	4	30	4	6	40
その他	自走式標識車	(台)	9	4	6	7	8	5	30	5	4	39
	巡回車(塩分濃度測定器付)	(台)	1	—	1	1	2	1	5	1	—	6
計		(台)	55	27	46	47	57	29	205	29	27	261

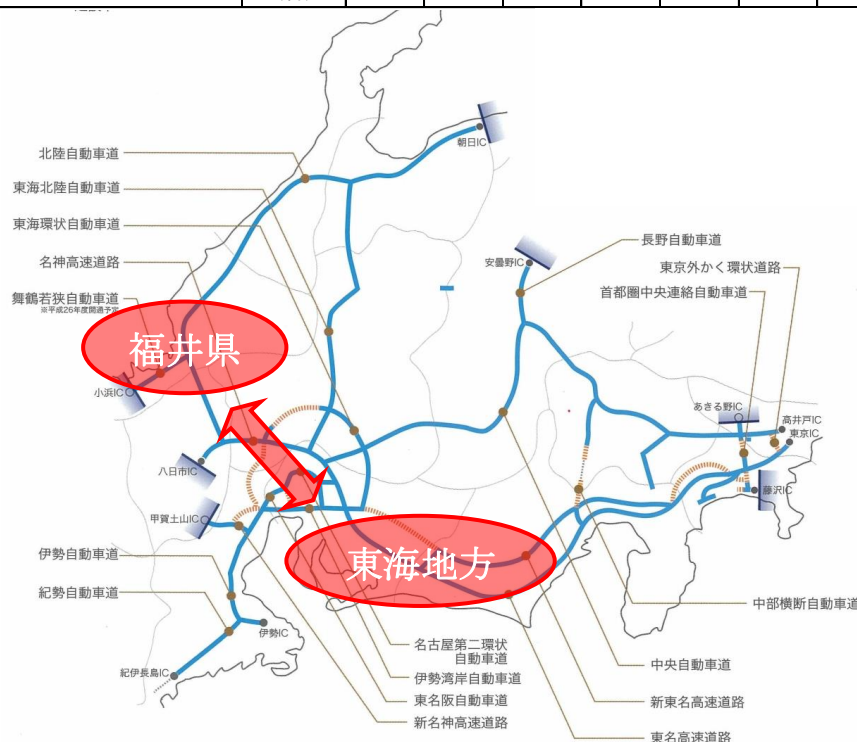


図 東海地方の降雪に備えた雪氷車両 (10台) の相互利用イメージ

◆監視カメラによる交通障害の早期発見

当支社管内の北陸自動車道、東海北陸自動車道および舞鶴若狭自動車道では、降雪状況、路面状況、交通障害を把握し早期の対応を図るために、監視カメラを前年度から福井県内で9基を増設し、173基設置しています。

これらのカメラを用いて、本線登り坂勾配が3%以上の区間で監視し、雪道で登坂できない車両および交通障害の早期発見に努めています。

監視カメラで立ち往生した車両を確認した場合には、パトロール車両で簡易チェーンの装着やトラクターショベルなどによる救援を行います。



◆定置式溶液散布装置等による立ち往生車両や交通障害の発生回避

北陸自動車道 敦賀 IC～今庄 IC 間の急な登り坂区間などにおいて、定置式の溶液散布装置と散水消雪装置を全体で約4.1km設置しており、降雪時には、地下水散水や凍結防止の溶液を散布して雪道で登坂できない車両の発生や交通障害の発生を抑制します。



散水消雪状況



定置式溶液散布装置

<お客さまへのお願い>

◆早めの冬装備

北陸自動車道、東海北陸自動車道および舞鶴若狭自動車道をご利用されるお客さまには、早めの冬用タイヤの装着やタイヤチェーンを携行していただき、また、雪道での安全運転に心がけていただきますようお願いいたします。

◆トラックのチェーン携行

北陸自動車道 木之本 IC～今庄 IC までの間は、降雪が多い山間部を走行いたします。登り坂では、トラックなどの大型車は冬用タイヤを装着していても登坂不能となる場合があります、大変危険ですので、タイヤチェーンを携行いただくようお願いいたします。

◆冬用タイヤ装着確認作業（チェーンチェック）にご協力ください

降雪時には、賤ヶ岳サービスエリア（SA）下り線（富山方面）や南条 SA 上り線（米原方面）等で冬用タイヤの装着状況について確認作業を行うことがあります。タイヤ装備の確認作業中は、お客さまの車両を一旦停止させていただくことがありますので、ご協力をお願いします。

なお、冬用タイヤ装着規制中の区間で、タイヤの装備が不十分な場合、事故を引き起こす可能性が高い車両とみなして供用約款（※）により、Uターンまたは最寄 IC で高速道路から退出していただくことがあります。

※供用約款については、当社ホームページをご参照下さい。

[http://www.c-nexco.co.jp/highway_rule/pdf/stipulation.pdf]

【参考】各都道府県の道路交通法施行細則または道路交通規則による積雪・凍結時の滑り止めの措置を行わなければ、罰則（罰金および反則金）の対象になります。

◆除雪作業、ツララ落とし作業などの低速走行時

当支社管内では、除雪作業、凍結防止剤散布作業およびツララ落とし作業は、通勤時間帯などの混雑時間帯を極力避けて実施します。降雪などの状況によっては、やむをえず混雑する時間帯でも作業が必要となりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

低速走行で作業を行うため、渋滞が発生する場合があります。追突事故防止のため、渋滞後尾でのハザードランプ点滅など、安全な走行にご協力をお願いします。

気象予測により、降雪の有無に関わらず早朝などの冷え込みが予想されますと、ツララが成長し、ツララ落とし作業を行うことがあります。作業が予測される場合は、一般ラジオ放送 JARTIC「道路交通情報」で情報提供します。



梯団による除雪





トンネル内ツララ落とし

～ 冬の高速道路の安全な走行に向けて
さまざまな方法で情報を提供しています ～

◆お出かけ前

冬の雪道情報「アイハイウェイ中日本」や携帯電話での音声案内サービス「ハイウェイテレホン #8162」をご利用ください。

アイハイウェイ中日本は、「冬用タイヤ規制」「通行止め」などの交通状況情報に加え、12時間先までの「雪」または「大雪」が降る可能性のある高速道路区間を着色（大雪が予想される区間 雪が予想される区間）で表示します。詳しくは、参考資料をご覧ください。



[<http://c-ihighway.jp/>]

◆高速道路を走行中

本線情報板、広域情報板、ハイウェイラジオなどで交通状況をご確認ください。



広域情報板による情報提供

◆休憩施設で

ハイウェイ情報ターミナルによる交通情報と、ライブカメラによる路面状況の情報をご覧いただけます。



ハイウェイ情報ターミナル



路面状況画像の提供

◆高速道路でのトラブル発生時

「非常電話」のほか、道路緊急ダイヤルやお客さまセンターをご利用ください。

道路緊急ダイヤル 「#9910」

NEXCO 中日本お客さまセンター 「フリーダイヤル 0120-922-229」

(ご利用できないお客さまは、052-223-0333 通話料有料)

◆スマートインターチェンジをご利用されるお客さまへ

当支社管内では、降雪によるスマートインターチェンジ閉鎖情報のメール配信サービスを行っています。

ご利用は、携帯電話で下記アドレス宛に空メールを送信していただくことにより、運営サイトからサービス利用登録のご案内をメール送信いたします。



[regist@c-nexco-kanazawa.info]